

LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第72期 (決算日2014年10月14日) 第73期 (決算日2014年11月13日) 第74期 (決算日2014年12月15日)
第75期 (決算日2015年1月13日) 第76期 (決算日2015年2月13日) 第77期 (決算日2015年3月13日)

作成対象期間 (2014年9月17日～2015年3月13日)

| 第77期末 (2015年3月13日) | |
|--------------------|-----------|
| 基準価額 | 5,477円 |
| 純資産総額 | 81,681百万円 |
| 第72期～第77期 | |
| 騰落率 | △16.8% |
| 分配金(税込み)合計 | 360円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2015年3月13日に第77期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

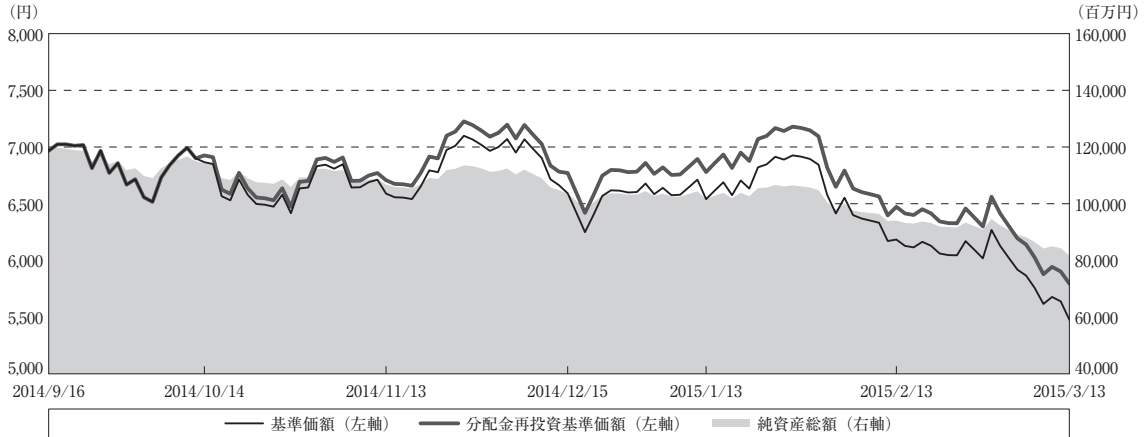
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2014年9月17日～2015年3月13日）



第72期首：6,967円

第77期末：5,477円（既払分配金（税込み）：360円）

騰落率：△16.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年9月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2015年3月13日）のLM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は5,477円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス16.8%（分配金再投資ベース）、基準価額は1,130円（分配金込み）下落しました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。しかし、ブラジルリアル・円相場がリアル安・円高となったことから、為替損益はマイナスとなりました。公社債損益についても、債券利回り上昇（価格は下落）の影響でマイナスとなりました。

1 万口当たりの費用明細

（2014年9月17日～2015年3月13日）

| 項 目 | 第72期～第77期 | | 項目の概要 |
|------------------------|-----------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 54 | % 0.816 | (a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 |
| （投信会社） | (26) | (0.400) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (26) | (0.390) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (2) | (0.026) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 6 | 0.095 | (b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (6) | (0.091) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （印刷等費用） | (0) | (0.002) | 印刷等費用は印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 |
| 合 計 | 60 | 0.911 | |
| 作成期間の平均基準価額は、6,668円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年3月15日～2015年3月13日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2010年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2010年3月15日 決算日 | 2011年3月14日 決算日 | 2012年3月13日 決算日 | 2013年3月13日 決算日 | 2014年3月13日 決算日 | 2015年3月13日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,467 | 9,124 | 8,142 | 8,421 | 6,529 | 5,477 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 1,440 | 1,380 | 940 | 920 | 800 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 1.1 | 5.0 | 17.7 | △11.7 | △5.4 |
| 純資産総額 (百万円) | 123,650 | 312,936 | 355,255 | 263,302 | 147,704 | 81,681 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

投資環境

（2014年9月17日～2015年3月13日）

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが上昇しました。

期の前半は、ブラジル大統領選挙の行方が不透明となったことから、利回りは上昇して始まりしました。大統領選挙が難航したことを受け、新政権が市場に配慮した政策を取り入れる可能性が高いとの期待感から、利回りが低下（価格は上昇）する場面もありました。しかしその後、ブラジル中央銀行（BCB）が予想外の利上げを決定したことなどから、利回りは再び上昇しました。

期の半ばは、新財務相に市場からの信頼の厚いレヴィ氏が指名されたことが好感され、利回りは低下しました。その後、BCBによる追加利上げや、原油安が進行し投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、新政権による財政健全化政策への期待が高まると、利回りは再び低下しました。

期の後半は、ブラジルの足元の財政収支の悪化やインフレ率の上昇を受け、利回りは上昇しました。また、作成期末にかけては、国営石油会社ペトロブラスの汚職問題に関連し、投資家のルセフ政権への信頼感が低下したことから、利回りは上昇しました。

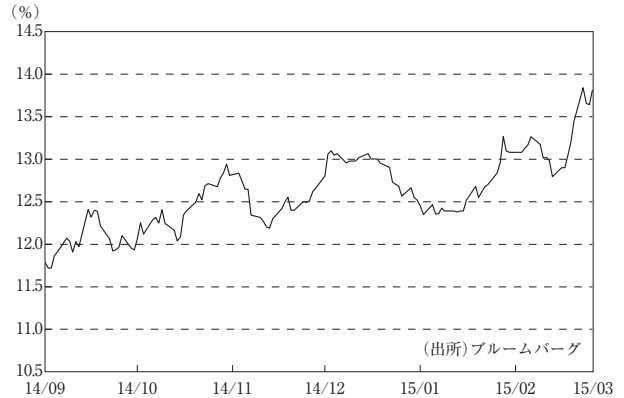
当作成期の為替市場では、ブラジルリアル安・円高となりました。

期の前半は、大統領選挙の行方に対する不透明感が高まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、地政学リスクの高まりを受け投資家のリスク回避姿勢が強まり、リアル売り・円買いが進みました。しかし、BCBによる予想外の利上げや、日銀による予想外の追加金融緩和を受け、リアル買い・円売り優勢へと転じました。

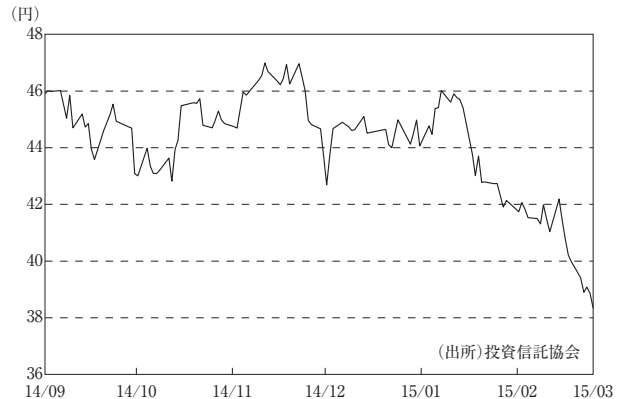
期の半ばは、新政権の経済閣僚人事が好感されたことや、円が主要通貨に対し弱含んだことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、原油や鉄鉱石等の資源価格の下落を背景にリスク回避の動きが強まったことから、リアル売り圧力が強まりました。その後は、BCBによる追加利上げ等を受け、リアルは底堅く推移しました。

期の後半は、財政収支の悪化やレヴィ財務相によるリアル買い介入に慎重な発言を受けて、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、ギリシャの金融支援協議の難航を受け投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ペトロブラス汚職問題を巡るルセフ政権への信頼感が低下したことなどから、リアル売り圧力が強まりました。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2014年9月17日～2015年3月13日）

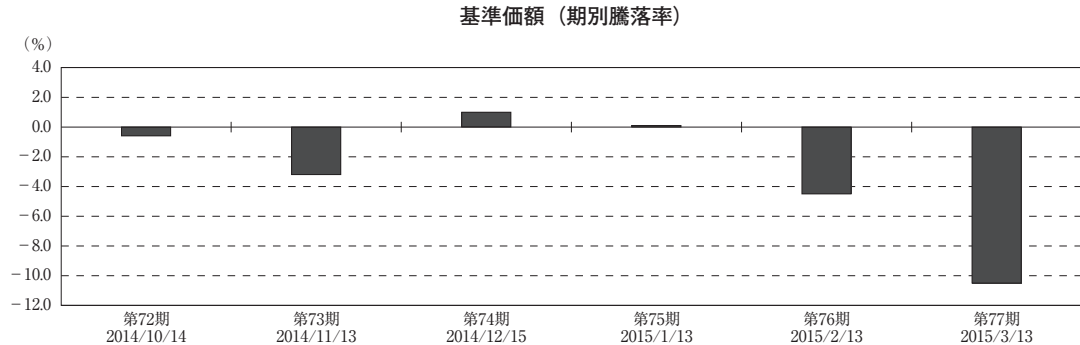
当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年9月17日～2015年3月13日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価格の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2014年9月17日～2015年3月13日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

| 項 目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|-----------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2014年9月17日 ～2014年10月14日 | 2014年10月15日 ～2014年11月13日 | 2014年11月14日 ～2014年12月15日 | 2014年12月16日 ～2015年1月13日 | 2015年1月14日 ～2015年2月13日 | 2015年2月14日 ～2015年3月13日 |
| 当期分配金 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| （対基準価額比率） | 0.866% | 0.902% | 0.902% | 0.909% | 0.961% | 1.084% |
| 当期の収益 | 45 | 48 | 52 | 41 | 49 | 40 |
| 当期の収益以外 | 14 | 11 | 7 | 18 | 10 | 19 |
| 翌期繰越分配対象額 | 400 | 388 | 381 | 363 | 352 | 333 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

ブラジル経済については、第二次ルセフ政権がインフレ抑制や財政再建を優先する姿勢を示していることに加え、ペトロブラスの汚職問題なども足かせとなることから、当面は低迷が続くものと予想されます。しかし、新政権が財政再建策を打ち出していることは、投資家の信認回復につながるものと期待されます。

金融政策については、BCBはインフレを抑制するため、2014年10月に利上げを再開し、その後も3会合連続で追加利上げを決定しました。今後は、インフレ抑制姿勢は変わらないものの、足元の景気の脆弱さなどを考慮しながら、慎重に政策判断を行うものと思われれます。

為替市場については、BCBが引き続きインフレ抑制を重視した金融政策を維持すると予想されることや、海外投資家による証券投資の流入などに下支えされ、レアルは底堅く推移するものと見込まれます。また、日本では日銀の積極的な金融緩和が継続されると見込まれ、レアルを対円で下支えする要因と考えられます。

ブラジルの債券市場では、BCBがインフレ抑制を重視する姿勢を示していることなどから、利回りは引き続き高水準で推移するものと思われれます。ただし、国内経済の低迷が意識されていることから、金融政策の動向を見極めつつ、利回りの上昇幅は限定的にとどまるものと考えられます。また、金利差を意識した投資家の投資意欲も債券市場を下支えするものと思われれます。

当ファンドにおきましては、信託財産の中長期的成長を目指すと同時に、毎月の分配金を享受していただくことができますよう、運用に注力していく所存です。

お知らせ

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に伴い、下記の約款変更を行いました。

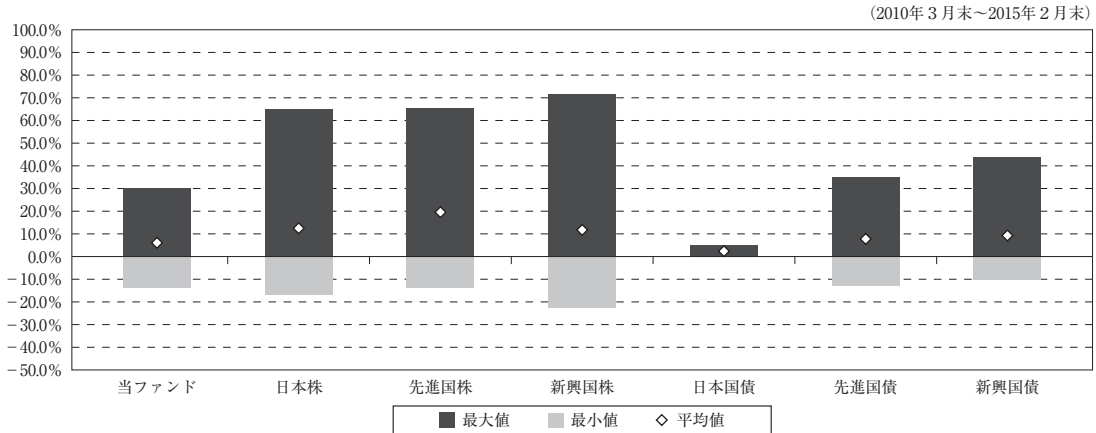
- 運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書をいいます。）に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供するための規定を新設しました。
- 重大な約款変更および繰上償還を行う際に行われる書面決議の手続きに関して、次の変更を行いました。
 - ・ファンドの併合について、受益者の利益に及ぼす影響が軽微であるときは、当該併合に関する書面決議を不要とする変更を行いました。
 - ・ファンドの併合および約款変更に関する書面決議に係る要件について、受益者数要件を廃止し、「受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」から「受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」に変更を行いました。
 - ・書面決議において反対した受益者の受益権買取請求の規定の適用を除外する変更を行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限に関し、合理的な方法により算出した額が純資産総額を超えることとなる投資を行わない旨の規定を新設しました。
(変更日：2014年12月1日)

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | 当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | 「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | LM・ブラジル国債マザーファンド | ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 当ファンド | 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | LM・ブラジル国債マザーファンド | 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。 | |

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 30.1 | 65.0 | 65.7 | 71.8 | 4.9 | 34.9 | 44.1 |
| 最小値 | △13.9 | △17.0 | △13.6 | △22.8 | 0.4 | △12.7 | △10.1 |
| 平均値 | 6.1 | 12.5 | 19.6 | 11.8 | 2.4 | 7.8 | 9.3 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年3月から2015年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年3月13日現在)

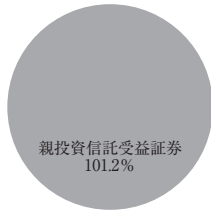
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第77期末 |
|------------------|--------|
| LM・ブラジル国債マザーファンド | 101.2% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

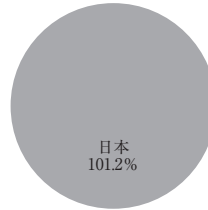
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

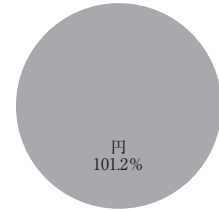
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

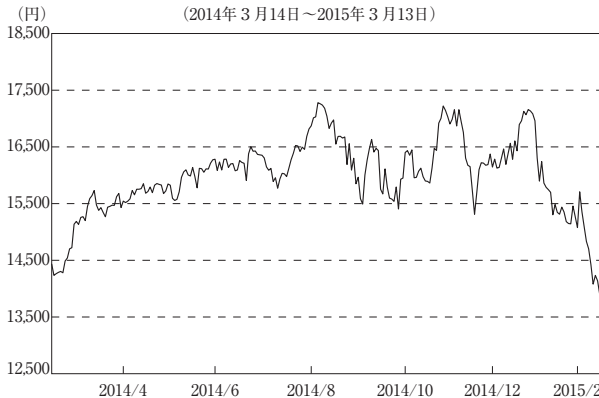
| 項目 | 第72期末 | 第73期末 | 第74期末 | 第75期末 | 第76期末 | 第77期末 |
|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 2014年10月14日 | 2014年11月13日 | 2014年12月15日 | 2015年1月13日 | 2015年2月13日 | 2015年3月13日 |
| 純資産総額 | 114,248,233,842円 | 106,781,120,416円 | 103,558,837,189円 | 101,663,153,913円 | 94,052,531,208円 | 81,681,741,504円 |
| 受益権総口数 | 166,390,092,220口 | 162,057,238,302口 | 157,097,513,933口 | 155,459,580,049口 | 152,088,011,740口 | 149,138,605,852口 |
| 1万円当たり基準価額 | 6,866円 | 6,589円 | 6,592円 | 6,540円 | 6,184円 | 5,477円 |

* 当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は7,457,422,088円、同解約元本額は29,171,344,963円です。

組入上位ファンドの概要

LM・ブラジル国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年3月14日～2015年3月13日)

| 項目 | 当期 | |
|---------------------|------------|------------------|
| | 金額 | 比率 |
| その他費用 (a) (保管費用) | 25 (25) | 0.158 (0.158) |
| 合計 | 25 | 0.158 |

期中の平均基準価額は、16,134円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年3月13日現在)

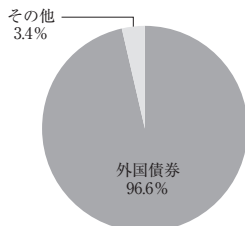
| | 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|----|---|--------|---------|-------|------|
| | | | | | % |
| 1 | BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2023/1/1) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 26.1 |
| 2 | BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2021/1/1) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 24.7 |
| 3 | BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2017/1/1) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 18.2 |
| 4 | BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2018/1/1) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 12.0 |
| 5 | BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA (2015/7/1)) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 7.6 |
| 6 | BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2019/1/1) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 5.9 |
| 7 | BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA (2015/10/1)) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 1.2 |
| 8 | BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA (2015/4/1)) | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 1.0 |
| 9 | — | — | — | — | — |
| 10 | — | — | — | — | — |
| | 組入銘柄数 | | 8銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

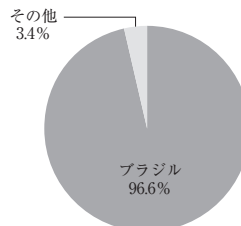
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

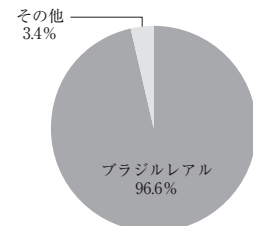
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。